

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（東海岸北一丁目自治会）
2	日時	令和7年2月24日（月）10:00～11:00
3	場所	ボランティアセンター海岸
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）山崎主査、夏莉技能労務統括主査 （東海岸北一丁目自治会）参加人数：31人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 門を開けた先にスペースがない場合は、どこに出せば良いか。 → 門を開け敷地内に出していただきたい。 ● 門を開けておくと防犯上の問題がある。そのような場合、道路上に出すしかないが、どうすれば良いか。 → 原則は敷地内に出していただくが、住居形態などやむを得ない場合は、個別に相談していただきたい。 ● 収集職員がポリバケツの蓋を閉めてくれないなら、ストッパーがない容器で出すしかないか。 → 収集職員はごみを取り出した後、排出時の状態に戻す予定である。ストッパーがある物でもない物でも構わないが、蓋に対する風対策も講じていただきたい。 ● 漬物の樽を利用して鳥獣対策をしようと思うが、飛ばされないようにレンガ等を置いても良いか。 → 可能である。 ● アパートの居住者と戸建て住宅の居住者が共同で利用している集積場所は、どうなるか。 → 双方、燃やせるごみにおいては敷地内に出していただく。アパートの排出場所に関しては、市から管理会社やオーナーに排出場所の設置を依頼している。 ● 燃やせるごみを集積場所に出されてしまった場合はどうなるか。 → 燃やせるごみは、集積場所での収集を行わない。燃やせないごみや資源物を収集している集積場所に出されてしまった場合、啓発シールを貼り、出し直しを促すが、燃やせるごみだけを収集している集積場所であれば、自身で出し直しをしていただく必要がある。問題が生じている場合においては、環境事業センター業務担当までご相談いただきたい。 ● 検証項目の燃やせるごみの組成というのは、どのように調査するか。 → 市が委託した事業者が、収集したごみ袋を開封し中身を分類し分析する。

- 焼却処理施設を増やすことはできないか。ごみの焼却にかかる費用はどれくらいか。
 - 今ある焼却処理施設を維持管理していく予定ではあるが、新たに設置する予定はない。なお、ごみの焼却処理を含めたごみ処理には、約 30 億円以上かかっている。
- 燃やせるごみの集積場所に設置しているネットボックスにポイ捨てがされてしまった場合、どうすればよいか。
 - 燃やせるごみは、集積場所では収集しないため、その他の品目を収集している場合は、その際に啓発し出し直しを促す。
- 燃やせるごみの集積場所に、燃やせるごみが出せなくなることの案内をしてほしい。
 - 市が作製した看板を設置している。
- 地域外の方が通りすがりにごみを出している。そういった人たちは、看板などを見ない。戸別収集に移行しても、通りすがりにごみが出されてしまうと困る。
 - 柔軟に対応するため、環境事業センター業務担当までご相談いただきたい。

以上